

バーチャルシティ宣言

2022年4月22日

バーチャルシティコンソーシアム

メタバースへの注目が2021年に一気に加速した。メタバースというものがインターネット上に作られ、人が集まる「都市」のようなものであるにも関わらず、都市化するための技術や道具、インフラといった「文明」寄りの話が中心となっている。しかし、そこにはどのような「文化」が生まれるのか、はあまり議論されていない。

「街の主演は人」¹である。同時に「まちづくりの主演は人」²である。したがって、インターネット上に実体化した都市であり、かつ実在都市と連動するバーチャルシティについても、「人」を中心に発展していくことを目指している。具体的には、集った「人」が創造性を発揮し、多様な「文化を育む」場となるべく、必要な機能だけではなく、ルールといった環境を整備する。

集った人たちが創造性を発揮できるようになることで、人と人を繋ぎ、コミュニケーションが生まれる。コミュニケーションが活性化され、ポジティブな体験が多く生まれれば、それは都市の活気につながり、ユーザーである”住民”たちにバーチャルな「シティプライド」が育まれる。結果として、バーチャルシティの住民たちの創作活動を通じて「その街らしさ」がより顕在化していく。人を中心としたまちづくりを実建築といったハードウェアだけではなく、ソフトウェア側からも積極的に行い、まちづくりを補完することで、その都市らしい生活圏を構築していくことが、都市連動メタバースの存在意義である。

バーチャルシティは他のメタバースと異なり、実空間を代替することは目的としない。仮想空間も現実であることには変わらないが、人の生活圏を拡張する新たな空間となる。実空間の並行世界として存在する仮想空間ではなく、人の生活圏を拡張し、文化を育む舞台であり、新たな人工現実空間（Artificial Reality Space）として、バーチャルシティを宣言する。

理想を実現するために、バーチャルシティが重要視する行動規範や考え方の指針を以下に掲げる。

¹ 渋谷区基本構想（2016年7月策定）

² 渋谷未来デザイン著・編『変わり続ける! シブヤ系まちづくり』工作舎（2021年11月29日）

バーチャルシティ宣言

2022年4月22日

バーチャルシティコンソーシアム

1. 創作活動を促し、人の多様性を開放する
2. 人の生活空間を拡張し、新たな経済圏を創出する
3. グローバルレベルでの「シティプライド」と都市の文化を育む
4. 「ヒト・モノ・コト」の偶発的な出会いと、コミュニケーションを創出する
5. テクノロジーを活用し、ユーザーの権利の適切な保護に努める
6. 公の場としての適切な運営と、オープン性を確保する
7. 民主的なルールメイキングを推進する